

医学研究実施のお知らせ

JCHO 埼玉メディカルセンター 外科 (プレストセンター) では以下の研究を実施しております。

研究対象となる方 (または代理の方) でこの研究について詳しくお知りになりたい場合やこの研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、下記の【問い合わせ先】まで御連絡ください。

【研究課題名】 乳頭乳輪温存皮下乳腺全摘術における乳頭乳輪内病変の迅速病理診断と永久病理診断の一致性に関する検討

【研究の概要】

(研究の目的)

本邦では一部の tissue expander と breast implant が保険適応となって以来、乳房再建術の需要が急速に高まりつつある。乳頭乳輪を温存した乳房再建術を希望する患者も少なくないが、術式を選択する際には乳頭乳輪内病変 (nipple-areola complex involvement; NAC) の正確なリスク評価が重要である。しかしながら術前に NAC を正確に判断する方法は確立していないのが現状である。NAC 温存を希望される患者には乳頭乳輪温存皮下乳腺全摘術 (nipple sparing mastectomy; NSM) を選択し、術中迅速病理診断で NAC 断端陰性を確認することが一般的である。しかしながら、術中迅速病理診断で NAC 断端陽性と診断され NAC を切除した症例の中には、永久病理標本で NAC 内病変が認められない場合もある。乳癌患者の皮下乳腺全摘術における NAC 断端の迅速病理診断陽性症例における永久病理診断の一致性を明らかにすることを目的としている。迅速病理診断における偽陽性の臨床病理学的特徴が明らかになれば過大な NAC 切除による患者が受ける喪失感を回避できる可能性があるため、臨床上意義のある研究と考える。

【対象・方法】 2008 年 4 月から 2021 年 12 月までに皮下乳腺全摘術を施行した患者のうち迅速病理診断で NAC 断端陽性と診断された症例を対象に後ろ向き観察研究を行う。

(研究期間)

2022 年 3 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までを予定している。

(研究対象者)

2008 年 4 月から 2021 年 12 月までに乳房再建を目的に当院で皮下乳腺全摘術を施行した症例を対象に後ろ向き観察研究を行う。

(研究に利用する情報等)

年齢、術式、病理診断、バイオマーカー、画像所見等

【問い合わせ先 (対応時間：平日 9:00 ~ 17:00)】

JCHO 埼玉メディカルセンター 外科

関 大仁

電話: 048-832-4951

※ご利用させて頂く情報等からは氏名、住所、電話番号など個人を特定できる情報は全て削除しております。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用致しません。